

## 再評価結果（平成23年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：三浦 真紀

<b>事業名</b> 地域高規格道路 南阪奈道路 一般国道165号 大和高田バイパス	<b>事業区分</b> 一般国道	<b>事業主体</b> 国土交通省 近畿地方整備局												
<b>起終点</b> 自：奈良県香芝市穴虫 至：奈良県橿原市四条町	<b>延長</b> 14.4km													
<b>事業概要</b> 一般国道165号は、大阪市北区から奈良県大和平野地域の南部を經由して三重県津市に至る全長約120kmの主要幹線道路である。 大和高田バイパスは、奈良中南部と大阪経済圏の連結強化や関西国際空港へのアクセス向上を図る地域高規格道路南阪奈道路の一部を構成するとともに、一般国道165号香芝市～橿原市間の交通混雑の緩和、交通安全の確保等を図ることを目的に計画された道路である。														
S43年度事業化	S47年度都市計画決定 (S61、H3、H9年度変更)	S47年度用地着手 S48年度工事着手												
全体事業費	930億円	事業進捗率 約88% 供用済延長 12.1km												
<b>計画交通量</b> 32,400台/日														
<b>費用対効果分析結果</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%; text-align: center;">B/C</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">総費用</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">総便益</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">基準年</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(事業全体) 1.2</td> <td style="text-align: center;">(残事業)/(事業全体) 85/2,007億円</td> <td style="text-align: center;">(残事業)/(事業全体) 177/2,322億円</td> <td style="text-align: center;">平成22年</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(残事業) 2.1</td> <td style="text-align: center;">( ) 事業費：74/1,934億円 維持管理費：12/72億円</td> <td style="text-align: center;">( ) 走行時間短縮便益：152/2,006億円 走行経費減少便益：13/255億円 交通事故減少便益：12/61億円</td> <td></td> </tr> </table>	B/C	総費用	総便益	基準年	(事業全体) 1.2	(残事業)/(事業全体) 85/2,007億円	(残事業)/(事業全体) 177/2,322億円	平成22年	(残事業) 2.1	( ) 事業費：74/1,934億円 維持管理費：12/72億円	( ) 走行時間短縮便益：152/2,006億円 走行経費減少便益：13/255億円 交通事故減少便益：12/61億円		
B/C	総費用	総便益	基準年											
(事業全体) 1.2	(残事業)/(事業全体) 85/2,007億円	(残事業)/(事業全体) 177/2,322億円	平成22年											
(残事業) 2.1	( ) 事業費：74/1,934億円 維持管理費：12/72億円	( ) 走行時間短縮便益：152/2,006億円 走行経費減少便益：13/255億円 交通事故減少便益：12/61億円												
<b>感度分析の結果</b> 残事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C= 2.3(交通量 +10%) B/C= 1.9(交通量 -10%) 事業費変動：B/C= 2.0(事業費 +10%) B/C= 2.4(事業費 -10%) 事業期間変動：B/C= 1.9(事業期間+20%) B/C= 2.1(事業期間-20%)														
<b>事業の効果等</b>														
①地域産業の支援 ・大和高田バイパス・南阪奈道路等の供用後、沿線の製造品出荷額が伸びており、整備により地域産業への支援が期待される。 ②交通の円滑化 ・大和高田バイパス・南阪奈道路等の供用後、現道の貨物車交通量が減少しており、整備により並行する（主）御所香芝線の貨物車交通が減少し、交通の円滑化が期待できる。 ③地域医療の支援 ・香芝市～奈良県立医科大学附属病院高度救命救急センターへの所要時間が短縮（最大30分→最大18分） ④関西国際空港へのアクセス向上 ・橿原市～関西国際空港への所要時間が短縮。（88分→61分） ⑤堺泉北港へのアクセス向上 ・橿原市～堺泉北港への所要時間が短縮。（75分→48分） ⑥日常生活圏中心都市へのアクセス向上 ・大和高田市～橿原市への所要時間が短縮。（21分→17分）														
<b>関係する地方公共団体等の意見</b>														
地域から頂いた主な意見： ・奈良県葛城広域行政事務組合（H4.3設立、大和高田市長、香芝市長、葛城市長、橿原市長で構成）より大和高田バイパスの早期整備の要望を受けている。														

奈良県知事の意見：

- ・国道165号大和高田バイパスは、南阪奈道路、西名阪自動車道、京奈和自動車道とともに、大和平野の広域幹線道路ネットワークを形成し、中南和地域の観光振興や地域産業の活性化、地域医療の支援等に資する重要な道路です。また、当バイパスの未整備により、主要地方道御所香芝線に交通が集中し、奈良県で有数の渋滞が著しい箇所となっており、早期の整備が必要です。
- ・大和高田バイパスは、中和幹線及び国道165号（香芝・柏原区間）と一体的に整備することで、近畿自動車道とのネットワーク機能により、中南和地域との連携が強化されるものであり、引き続き事業継続をお願いいたします。

事業評価監視委員会の意見

審議の結果、「国道165号大和高田バイパス」の再評価は、当委員会に提出された資料、説明の範囲において、おおむね適切に進められており、対応方針（原案）のとおり「事業継続」でよいと判断される。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

一般国道165号の交通量は依然として交通容量を超過している。

奈良県では「法隆寺地域の仏教建造物」、「古都奈良の文化財」に加えて平成16年に「紀伊山地の霊場と参詣道」が新たに世界文化遺産に登録された。また、平成22年度には平城遷都1300年祭がとりおこなわれており、奈良県内の観光客数は年々増加傾向となっている。

産業では大和高田バイパス沿線での製造品出荷額が近年では増加傾向となっている。

事業の進捗状況、残事業の内容等

現在までに12.1kmを供用済みであり、用地取得は約92%完了。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

引き続き事業を推進し、早期の供用を目指す。

施設の構造や工法の変更等

事業実施にあたり、擁壁構造の見直しや新技術・新工法の活用等により、コスト縮減に努める。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。

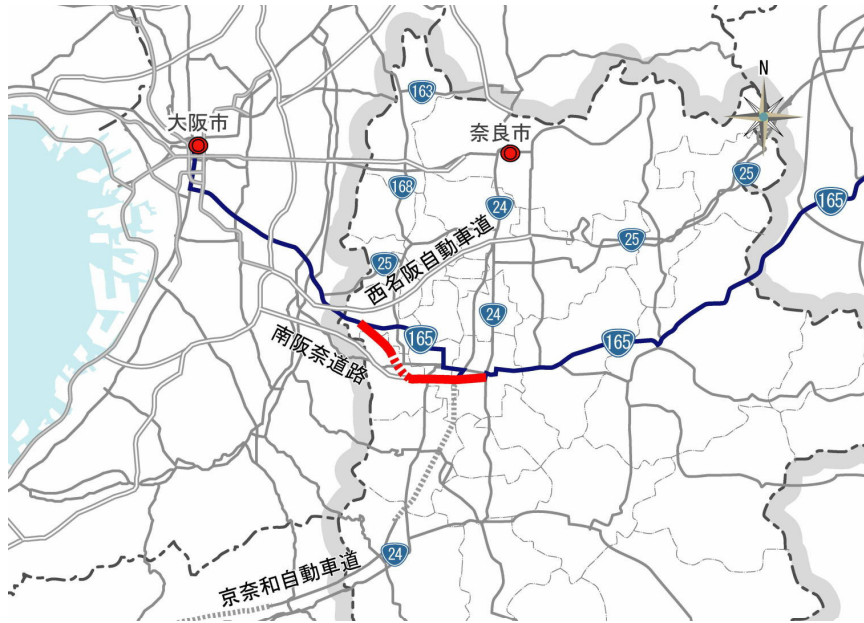
# 再評価結果(平成23年度事業継続箇所)

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：三浦 真紀

事業名	地域高規格道路 南阪奈道路 一般国道165号 大和高田バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 近畿地方整備局
起終点	自：奈良県香芝市穴虫 至：奈良県橿原市四条町	延長	14.4km		

事業概要図  
【位置図】



【概要図】

